

受入先	観光課
隊員氏名	岩崎 泰依
着任日	平成 30 年 1 0 月 1 日

活動月	令和元年 9 月（着任 12 カ月目）
主な活動	武家屋敷を活用したイベント企画、和綿畑づくり、研修など

1、武家屋敷コットンファームの活動（9月）

-いよいよ収穫！-

9月に入り綿の実が弾け、収穫の時期を迎えました。実が弾けてからは風などで綿が下に落ちてしまうと汚れてしまうので毎日収穫をしています。全体に実が小さいかなとは思いますが初めてにしては上出来だと思えます。約 250 株育てていますが、このまま順調に収穫してTシャツ 2 枚分くらい出来るかなと予想しています。

収穫した綿は見た目は同じように見えますが、品種ごとに触った時の感覚や繊維の長さがそれぞれに異なります。これから糸に紡ぐとき、布に織った時に個性が出ると思うのでまた違いを見るのも楽しみです。

今後、武家屋敷内で糸紡ぎワークショップが体験できるような計画をしています。



2、国際交流活動 多文化共生イベント

自分自身がインドで仕事をしたり、帰国した後も外国人と一緒に仕事をしてきた経験から日本に暮らす外国人の少しでも手助けが出来たらと国際交流活動にとっても興味がありました。今まで南九州市外での国際交流関係イベントに参加したり、インド料理の講習やインドの文化や現地での生活についてお話しさせていただきました。

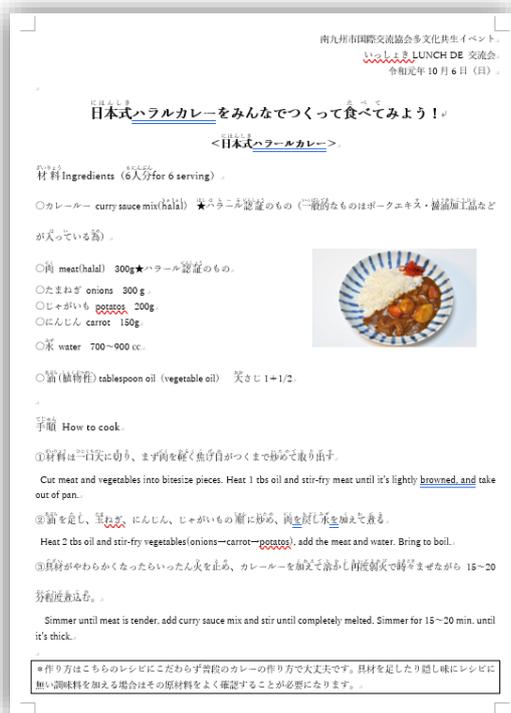
この経験を活かして自分の地域でも何か役に立てることはないかなと考えているところでした。

- 「いっしょき LUNCH DE 交流会」 -

今回、南九州市国際交流協会のイベントのお手伝いをさせて頂く機会をいただきました。地域に暮らす外国人と日本人と一緒に料理を作りお互いの文化を紹介しあい楽しくおしゃべりをし親睦を深めるという内容です。イスラム教の参加者もいますのでハラール（イスラム法上で食べることが許されている食材や料理）の食材を使った誰でも簡単に出来る日本式のカレーを紹介することにしました。食文化の異なるお客様をおもてなしをする機会が今後あれば役立ててほしいと思うのと、外国人の参加者が日本のカレーを食べるのが初めての方もいると聞いてこのメニューにしました。地域での交流を通して食の多様性をもっと身近なものになることを願います。

3、1年間をふりかえって

早いもので南九州市に移住して地域おこし協力隊の活動を始めて9月で1年が経とうとしています。生活スタイル、周りの環境、接する人すべてが大きく変わり初めて経験することだらけであっという間に時間が過ぎていきました。その中でたくさんの方にご協力いただき活動を続けることができました。本当にありがとうございます。今までとは全く異なる環境に来れたからこそ見えること、感じる事がたくさんありその中から生まれる発想からたくさんの方にチャレンジする機会もいただきました。



-1 年目取り組んだこと-

①たくさんの人とかかわりを持つ、自分を知ってもらう

地域のイベント、お祭りなどいろいろな行事に参加させていただきました。その中で仲間や協力してくれる人も徐々に増えて、武家屋敷内でひなまつり、七夕、風鈴の小径などの自主企画のイベントも開催できました。何か行動を起こすことでコミュニケーションが生まれて少しずつではありますが今の結果につながっていると実感しています。

②和綿の栽培（武家屋敷コットンファーム）

今年に入ってから畑作りからはじめ、ゴールドンウィークに種を蒔き武家屋敷内で和綿の栽培をはじめました。今月には無事収穫を迎えています。武家屋敷を訪れるお客様にも和綿を使ったものづくりの体験の場、交流の場として活用できるよう計画しています。またいずれはオリジナルの商品の開発もしたいです。7月の七夕イベントの際には和綿をつかって糸紡ぎから機織りまで体験できるワークショップも開催しました。

③国際交流活動

南九州市内外でのさまざまな国際交流活動にも参加させていただきました。外での活動では南九州市の食材を使ったインド家庭料理の講習をさせて頂き、その時の生徒さんが知覧に遊びに来てくれたりと交流が続いています。南九州市内でも地域の外国人と日本人を繋げる活動を今後していきたいです。3月のひな祭りのイベントでは地域にお住いの外国人の方も着付け体験に参加して下さい、とても華やかな雰囲気になりました。

こちらに来て初めて人前で沖縄民謡の演奏を披露しました。これからもみなさんとたくさんの楽しい時間を共有していきたいです。



2 年目も感謝の気持ちを忘れずさらに新しい事にチャレンジしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。